

ごあいさつ

2021年7月、日本各地で前線の停滞に伴う土砂災害が多数発生しております。被災されました皆さまに対しまして、心からお見舞い申し上げます。

当社は、安全で安心な旅客輸送サービスの提供を最大の使命とし、安全管理規程に基づき、安全管理体制を構築し、安全確保に向けた様々な取り組みを行っています。

しかしながら、2020年度は、大津線における一部電気設備の検査期間超過という、お客さまからの信頼を根底から覆す事案を発生させてしまいました。本事案を受け、浮彫りになった課題を解決し、再発防止に取り組んでいます。

2020年1月から続く新型コロナウイルス感染症が収束の兆しを見せない厳しい状況が続く、当社の業績にも甚大な影響を与えています。このような状況においても、鉄道の根幹が安全であることに揺ぎはなく、安全輸送に向け必要な投資を行ってまいります

特に、情報通信技術（ICT）導入を加速させることにも挑戦していきます。当社では、本年度から技術部門の新入社員教育において、ドローン操縦だけでなくセンサーや通信技術の教育を導入いたしました。また、駅務機器類はネットワーク化され、購入決済への新技術導入が加速しています。この分野でも技術力向上を図ってまいります。

一方で、激甚化する水害や30年以内に発生する確率が70～80%と言われている南海トラフ大地震などの自然災害も予断を許さない状況にあります。自然災害への備えのレベルアップを急務と考え、事業継続計画（BCP）の強化および各種訓練を実施することで、盤石の体制を整えてまいります。

今後も、「京阪グループ長期戦略構想」に基づき、最上位価値である「安全安心」の基盤のさらなる強化および「すべてのお客さまが安心してご利用いただける施設・環境づくり」を目指すことにより、お客さまの満足度向上に取り組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、主に2020年度に実施しました当社における安全への取り組みを皆さまに広く紹介するために作成しております。本報告書をご一読いただき、ご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。



代表取締役社長 平川 良浩